

栃木県クライミング強化選手の活躍

■2018/08/16 報告:北村

第21回ジュニアオリンピックカップ南砺 2018 栃木から7名が出場、関口・竹村が決勝進出しともに9位！



期日:2018年8月11日(土)~13日(月)

会場:富山県南砺市 桜が池クライミングセンター

出場選手: ジュニア男子 茂呂居岳人(佐野高3年) 11位

ユースA女子 半田和(海星女子高2年) 19位

ユースB男子 関口準太(真岡市立真岡中2年) ★9位

〃 齋藤正樹(宇都宮市立清原中3年) 12位

〃 河合汰樹(作新学院中等部3年) 36位

ユースC男子 竹村比呂(真岡市立真岡中1年) ★9位

ユースC女子 篠崎由希(宇都宮市立陽東中1年) 16位

引率:齋藤正憲

[《大会要項》](#)

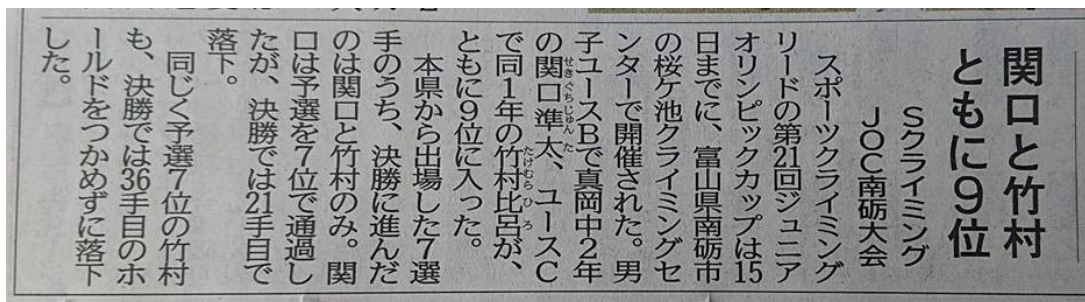
[《リザルト速報》](#)

ユース世代の大会として歴史あるジュニアオリンピック。今年は世界ユース選手権と重なってしまったため榑崎明智選手と川又玲瑛選手が欠場となりましたが、これまでのユース対象の大会成績から、茂呂居、関口、齋藤、竹村の4名の選手が日山協推薦枠を獲得しており、そこに栃木推薦として半田、河合、篠崎の3名の選手を加え、栃木からは総勢7名での出場となりました！

今やオリンピックの正式種目となったスポーツクライミング。ユース世代の各カテゴリーの競争もますます激しくなっており、到達高度ごとにリザルトが団子になってしまう状況。一手の差が実に大きいところがありました。

そんな中、ユースBの関口準太選手とユースCの竹村比呂選手が予選7位で決勝に進出！
決勝ではそれぞれ9位となりました！

8/16 付の下野新聞に記事が掲載されました！



全国から選り抜きが集まる中で順位を上げていくのは決して簡単ではありませんが、今の栃木選手たちは確実に強くなってきています。自分を信じて、また次回のユースの大会で成績を伸ばしてください！

猛暑の中、保護者の皆さんもテントの場所取りや設営、応援など本当にご苦労様でした！

おまけ情報

ホンダの石賀雅浩君が審判で参加。お疲れさまでした！